

第11回の基本課題

ex11-1.c

次の ex11-1.c は、main() 関数に加えて、1つのint型の引数をもつ void型の関数 prnum(int a) を用いた未完成のプログラムソースである。このプログラムソースに prnum() 関数のプロトタイプ宣言と定義を追加して 0 から 9 までの整数を出力するプログラム **ex11-1.c** を作成し、kiso2コマンドを用いて提出しなさい。ただし、以下の未完成なプログラムソースから main() 関数の内容を書き換えてはならない。

ex11-1.c

```
#include <stdio.h>

/* ここに関数 prnum() のプロトタイプ宣言*/

int main(void) {
    int i;

    for (i=0; i<10; ++i)
        prnum(i);

    return 0;
}

/* ここに関数 prnum() の定義*/
```

実行例：

```
t190900@so1cd0542-160:~/kiso2-2019/ex11$ ./ex11-1
0 です。
1 です。
2 です。
3 です。
4 です。
5 です。
6 です。
7 です。
8 です。
9 です。
```

ex11-2.c

次の ex11-2.c は、main() 関数に加えて、1つのint型の引数をもつ int型の関数 square(int a) を用いた未完成のプログラムソースである。このプログラムソースに square() 関数のプロトタイプ宣言と定義を追加して 0 から 9 までの自乗の値を出力するプログラム **ex11-2.c** を作成し、kiso2コマンドを用いて提出しなさい。ただし、以下の未完成なプログラムソースから main() 関数の内容を書き換えてはならない。

ex11-2.c

```
#include <stdio.h>

/* ここに関数 square() のプロトタイプ宣言*/

int main(void) {
    int i;

    for (i=0; i<10; ++i)
        printf("%d の自乗は %d です。 \n", i, square(i));

    return 0;
}

/* ここに関数 square() の定義*/
```

実行例 :

```
t190900@s01cd0542-160:~/kiso2-2019/ex11$ ./ex11-2
0 の自乗は 0 です。
1 の自乗は 1 です。
2 の自乗は 4 です。
3 の自乗は 9 です。
4 の自乗は 16 です。
5 の自乗は 25 です。
6 の自乗は 36 です。
7 の自乗は 49 です。
8 の自乗は 64 です。
9 の自乗は 81 です。
```

[第11回演習課題へ](#)

From:
<https://www-slab.math.ryukoku.ac.jp/> - **www-slab.math**

Permanent link:
<https://www-slab.math.ryukoku.ac.jp/lecture/kiso2/2018/base11?rev=1544072357>

Last update: **2018/12/06 13:59**

